

〈報告〉

栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」

WEB サイト制作

齋藤 一* 杉澤 愛美†

Web Design for Brick Warehouse “Kurifuto” in Kuriyama Town

Hajime Saito* Manami Sugisawa†

要旨

栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」(以下、「くりふと」)は、2023年1月にオープンした栗山町民をはじめ栗山町に関わる人たちが活動し交流するためのコミュニティスペースである。本稿では、「くりふと」の公式サイトの子学生プロジェクトによる制作について報告する。2022年10月には「くりふと」の視察・写真撮影を実施し、同年12月にはオープン前のティザーサイトを公開した。情報を充実させた本サイトは2023年3月28日にオープンした。本サイトはWordPressを用いて容易に内容を更新できる仕組みや問い合わせフォームの機能を実装した。

Abstract

Brick Warehouse "Kurifuto" is a community space for people associated with Kuriyama Town, including Kuriyama Station South Interchange Facility, which opened in January 2023. This report describes the official website for Kurifuto created in a student project. In October 2022, we conducted site visits and photo shoots of Kurifuto. In December of the same year, we released a teaser site before the official opening. The completed website was launched on March 28, 2023. The site uses WordPress, which allows easy content updates and the ability to use contact forms.

キーワード

栗山町 (Kuriyama Town) 学生プロジェクト (Student project)
WEB デザイン (Web design) コンテンツ管理システム (Content management system)

* 北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科教授, Professor, Department of Information Media, Faculty of Information Media, HIU

† 北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科講師, Lecturer, Department of Information Media, Faculty of Information Media, HIU

1. はじめに

栗山町は、北海道空知総合振興局管内南部に位置し、人口1万2千人ほどの比較的小規模の街である。主に農業や林業が中心であるが、近年、観光業にも力を入れており、「くりふと」は、栗山町の観光や地域おこしの新拠点となる施設である。「くりふと」のWEB制作は、学生プロジェクト（PBL：プロジェクト型学習）によって進めた。学生プロジェクトは、デザイン担当が4名、コーディング担当が1名の計5名で実施した。5名とも情報メディア学科の3年生（当時）である。

2. 栗山町からの要望

WEBサイトの制作を開始するに当たり、2022年9月7日に、栗山町ブランド推進課、および、栗山町地域おこし協力隊の方々（以下、クライアント）に本学に来て頂き、ミーティングを実施した（図1）。クライアントからは、学生プロジェクトメンバーに建設中の「くりふと」の概要について説明を頂いた。また、WEBデザインの参考とするため、「くりふと」のロゴを作成された担当者の方にもリモートで参加頂き、ロゴに込めた思いを説明頂いた。「くりふと」とそのロゴの意義は次の通りである。

「くりふと」は、栗山町を象徴する「栗（くり）」、「接木」を意味する「graft（グラフト）」を組み合わせることばであり、弱りかけていた栗の木が、接木によってより丈夫に、より大きな実を生らすように、栗山町も、町内外から集まって来てくれた人たちと交流を行うことによって、さらに活気あふれるまちになってほしい。そしてその拠点が、「くりふと」であってほしいという思いを込めて名付けられた（栗山町,2023）。

「くりふと」のロゴ（図2）は、次の3つを意図して制作されている。

1. つながる：「くりふと」の「く」がしっかりと噛み合っ繋がり、接木が行われている様子を表している。
2. 育つ：枝が伸びている角度は、 137.5° であり、植物は 137.5° ずつ葉をずらしながらついているため日光を満遍なく浴びることができることから、栗山町や施設の成長を表す角度としている。
3. 賑わいの波及：このロゴを幾つも組み合わせると、広がりのある新たなパターンデザインが生まれる。



図1 初回ミーティングの様子



図2 「くりふと」のロゴ

クライアントからのWEBサイトに対する要望は次の通りである。

- ・ CMS (Content Management System) の導入とお問い合わせフォームを設置

する

- ・ 記事投稿等で内容をカスタマイズできるようにしたい
- ・ WEB サイトに使用する写真素材も学生に撮影体験をしてもらいたい
- ・ WEB サイト自体はシンプルで見やすく簡易的なものにし、記事ページに力を入れたい
- ・ 参考サイト（ベンチマーク）である（ピア 21 しほろ（2022）のように、記事ベースで施設の魅力を伝えていきたい
- ・ 関係人口の創出（来訪者が栗山ファンとなり将来的に地域の活動・活躍側に回る）が施設の役割なので、WEB サイトを見た方が単純な利用/購入だけではなく、活動/活躍するイメージが沸くようにしたい

初回打ち合わせを経て、制作する WEB ページ構成を次の通りとした。

- ・ 簡易的な施設紹介（総合案内/キッチン/ファブラボ栗山（栗山町,2022）会議室/FM 放送局/多目的ホール/広場/栗山駅南公園）
- ・ コンセプト
- ・ 新着情報、体験記事
- ・ アクセス（わかりやすい案内）
- ・ お問い合わせ（フォーム）
- ・ 外部リンクバナー（各プロジェクトのサイトへ）

3. 現地取材と WEB デザイン

3-1 現地取材

「くりふと」のオープン前の 2022 年 10 月 20 日に、学生 3 名、教員 2 名による現地取材を実施した。WEB サイトの素材となる写真は、学生が一眼レフカメラで撮影した（図 3-1）。栗山町の方々からは、施設内

の各部屋の役割が説明された（図 3-2）。



図 3-1 現地取材の様子（外観の撮影）



図 3-2 現地取材の様子（施設内）

Green	Brown	Beige
#DfE5CD	#E8E0DB	#F5EFE4
#F9FBF8	#F8F2EE	#FFFAF2
#B0C398	#B4A999	#DCCFCB

図 4 サイトの配色案

3-2 デザイン案とティザーサイト

これまでのクライアントからの説明や資料、および現地取材からサイトのデザインを作成した。サイトの配色は、原色に近い色を避けて、和らいかい印象の色使いにしている（図 4）。図 5 は、この配色案をもとに制作した WEB デザインを示している。デザインは Figma を用いて行った。この初期のデザイン案を元に、クライアント側と何度かオンライン会議を行い、フォントや色の調整をするなどして、最終的なデザ

インを完成させた。

4. サイト制作（コーディング）

4-1 制作環境

CMS として、多くの利用実績のある WordPress (2023) を使用した。コーディング担当の学生は、Windows PC 上に簡易的にサーバ環境を構築することができる Xampp8.2(PHP8.2)を使用して制作を行った。また、テストサーバの使用は次の通りである。

- Linux 5.4.0
- Apache 2.4.41
- PHP 8.2.3
- WordPress 6.0 (随時最新版に更新)



図 5 サイトのデザイン案



図 6 ティザーサイト

4-2 ティザーサイト

小ページを含むデザインの最終案の確定に時間がかかったことと、コーディング担当の学生が、初めての WordPress を用いた制作であったため、制作期間を長く設定した。そのため、2023年1月の「くりふと」のプレオープンを2022年内に告知するため、WEBサイトの公開を前にティザーサイトを用意し、2022年12月に先行公開をした(図6)。ティザーサイトとは、本格的な公開の前にユーザに対して情報を発信するための簡易的なサイトである。ティザーサイトは WordPress を使用せず、html と css のみでコーディングを行った。

4-3 サイトの公開

第2章で示した、クライアントと打ち合わせにより決めた WEB サイトのページの構成をすべて実装し、2023年3月28日に WEB サイトを公開した。図7-1は本サイトのトップページである。本サイトの一部には、本プロジェクトで撮影した写真も使われている。しかし、トップページのメインビジュアル用の画像は、撮影時間の関係で日の当たっている裏側から撮影したものであったため、クライアント側が用意した写真に変更になっている。また、利用者や職員が写っている写真は、プレオープン後にクライアント側に用意して頂いた。



図 7-1 トップページ

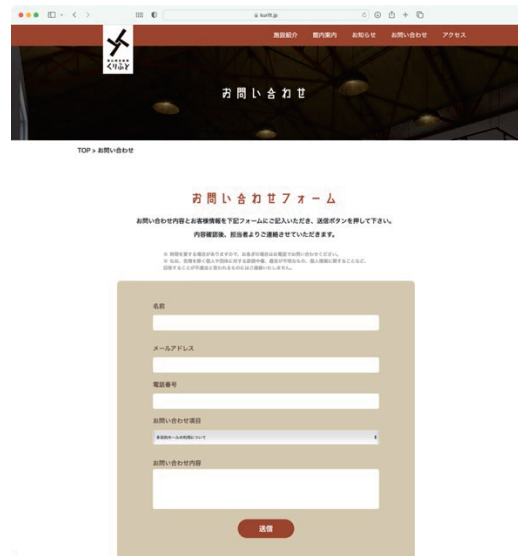


図 8 お問い合わせフォーム

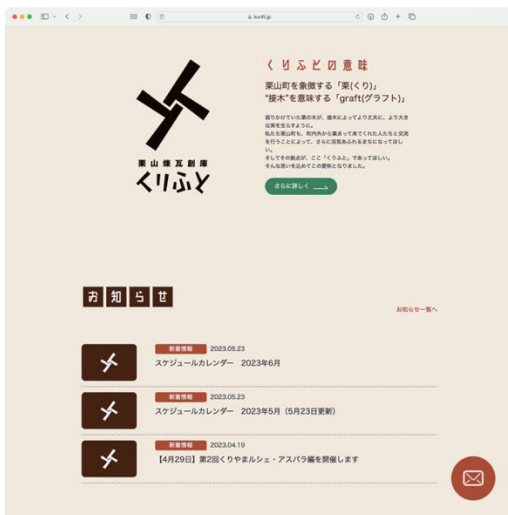


図 7-2 トップページ (くりふとの意味・お知らせ)

トップページの中ほどには、「くりふと」やそのロゴの説明が記載されている(図7-2)。さらにその下には、お知らせの欄があり、新着情報を確認することができる。トップページの下側には、各施設紹介を掲載している(図7-3)。トップページには、お問い合わせフォームに遷移できるメールのイラストを付したボタンが常に表示されるようになっている。図8は、お問い合わせフォームを示している。お問い合わせフォームは、WordPressのプラグインの一つであるContact Form 7(Takayuki Miyoshi,2023)を用いて実装した。

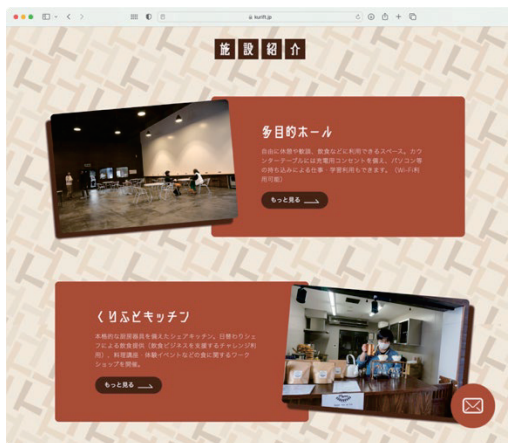


図 7-3 トップページ (施設紹介)

なお、体験記事は機能も含めて実装済みであるが、クライアントの更新体制が整うまで非表示とすることにした。

5. サイト公開後の改善

本サイトの公開後、クライアント側からWEBサイトについての何点かの修正希望があり、改善を行った。改善後、2023年5月10日にサイトの一部を更新している。栗山町からの要望があり、改善した項目は

次の通りである。

- ・ 「お問合せフォーム」の必須欄の必須の文字を表示した。
- ・ 「お知らせ」の複数あるカテゴリのラベルを色分けで表示できるようにした。
- ・ 「お知らせ」の投稿編集画面で、アイキャッチ画像の掲載の有無を選択できるようにした。
- ・ 「お知らせ」の記事一覧のアイキャッチ画像のありなしで、左の位置が変わっていたところを揃えた。
- ・ 「館内案内」のマップ (図 9) の大きさが小さかった(拡大しても元の大きさが小さいままだった)ので少し大きくした。
- ・ トップページで、「お知らせ」の表示位置を「施設紹介」の上に移動した。
- ・ フッターに Instagram/facebook/LINE のアイコンを追加し、公式アカウントのリンクを貼った。
- ・ サイトのアイコンであるファビコンや、SNS でサイトのページの URL をシェアした際に、ページのタイトルや概要、イメージ画像、URL 含めた詳細情報を正しく表示するための OGP (Open Graph Protocol) の設定をした。
- ・ トップページや小ページで、見出しに、HTML の見出しタグが使われていなかったのので、見出しタグを使用するようにした。ただし、トップページについては、デザインが崩れてしまう恐れがあったため、そのままとした。

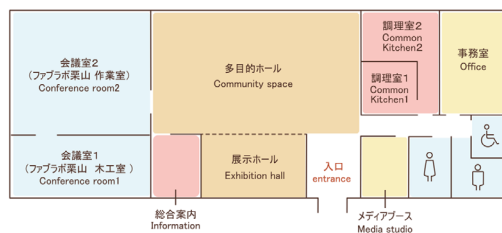


図 9 館内マップ

6. サイト公開後の改善

本稿では、「くりふと」公式サイトでの学生プロジェクトによる制作について報告をした。CMS を利用した本格的な WEB サイト制作が初めてのメンバーであったため、公開後も幾つかの改善が必要となった。しかしながら、本プロジェクトは、参加学生にとって WEB サイトデザインや制作技術の向上に貢献し、実践的な学外活動の実績となった。こうした学外のクライアントとのやり取りの中での制作は、プロジェクトの参加学生にとって、コミュニケーション能力の向上や、顧客の視点に立ったサービスの実現方法を学ぶ機会となる。

来訪者が栗山ファンとなり将来的に地域の活動・活躍側に回るといふ、関係人口の創出が「くりふと」の役割である。クライアント側からは、WEB サイトを見た方が単純な利用/購入だけではなく、活動/活躍するイメージが湧くようにしたいという要望があった。今後、WEB サイトのコンテンツが意図した効果があったのかどうかを、アンケートやサイト閲覧の履歴などを調査することで検証を行う必要がある。

謝辞

本制作にご協力頂いた、栗山町関係各位に感謝申し上げます。

参考文献

- 栗山町 (2023) 「栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」」
<https://kurift.jp/> (2023年5月23日アクセス)。
- 栗山町 (2022) 「ファブラボ栗山とは」
<https://fablabkuriyama.jp/about.html>
 (2023年5月23日アクセス)。
- Takayuki Miyoshi (2023) 「contact form 7」
<https://ja.wordpress.org/plugins/contact->

[form-7/](#)

(2023年5月23日アクセス)。

ピア21 しほろ (2022)「道の駅 ピア21
しほろ」<https://pia21shihoro.jp/> (2023
年5月23日アクセス)。

WordPress (2023)「ブログから大規模サイ
トまで作れる CMS | WordPress.org」

<https://ja.wordpress.org/>

(2023年5月23日アクセス)。

